

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

創造・奉仕・協力のもと、企業価値の最大化と持続可能な事業活動で、世界にそして未来に誇れる企業を目指す

長期目標

LE世界No.1達成目標

② 中長期の経営戦略

1. 脱炭素化を加速

フル電動ラフテレーンクレーンを日本・北米市場で販売。有線式電動CC.88.1600-1開発中。2025年フル電動高所作業車AT-121TTEを販売開始

3. 強みを活かしたものづくり改革

日本・欧州・米州の開発生産拠点で最適なものづくり体制構築。2025年にドイツ工場を閉鎖し、日本では小型、ドイツでは中大型モデル生産に特化

2. 新たな領域への挑戦

2024年タダノユーティリティ、2025年マニテックス社、2025年7月タダノインフラソリューションズ買収で車両搭載型クレーン・定置式クレーン・高所作業車を海外展開加速

4. 変革を支える足場固め

サービス力強化で再生事業拡充、レトロフィット強化。信託型従業員持株インセンティブ・プランE-Ship®導入。プラチナくるみん認定取得

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 米国通商政策や地政学的リスクによる世界経済下振れ懸念
- ・ 中国国内需要減少で中東などで影響が大きく出ている
- ・ 欧州経済回復の遅れと中東での需要停滞見込み

② コスト増加への対応

- ・ 米国関税政策影響と人件費を中心にコスト増加が続く
- ・ 製品価格の見直しにより利益確保を図る
- ・ 多品種少量生産でのボリュームに頼らない効率改善課題

③ 人財基盤の強化

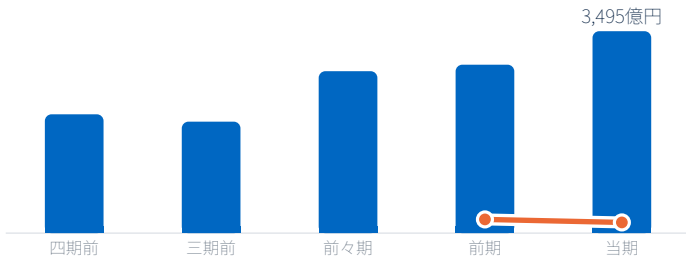
- ・ 従業員エンゲージメント向上とE-Ship®導入
- ・ 女性活躍促進とプラチナくるみん認定取得
- ・ 障がい者・外国籍社員採用強化と定年後人財活用

面接で使えるポイント

- ・ LE世界No.1達成に向け、創造・奉仕・協力の理念で脱炭素化と新製品開発を推進している
- ・ 2024～2025年で3件の買収を実施し、定置式クレーンや高所作業車の海外展開を加速している
- ・ 日本・欧州・米州の拠点で役割を分け、コスト競争力と品質向上に取り組むものづくり改革を進行中

証券コード 6395

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,495億円営業利益率
5.3%財務健康度
42点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 59.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
695万円

機械内 100位/208社

平均年齢
40.8歳

機械内 162位/209社

平均勤続
15.1年

機械内 120位/209社

女性管理職
2.3%

機械内 129位/168社

男性育休
58.7%

機械内 141位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (令和8年7月9日)株式会社タダノに対する勧告について

